



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

9月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

備える

この夏も、全国各地で猛暑や自然災害による被害がありました。災害は『まさかここで』『こんなことが』と思うようなことが起こります。災害に合われた方に心よりお見舞い申し上げます。

さくらだこども園は、夏の間もたくさん子どもたちが毎日、生活しています。幼稚園卒の子どもたちが夏季休業中の8月に、毎年、保育卒の子どもたちの生活ならではの午睡明けの避難訓練をしています。まだしっかり目覚めきっていない幼児も、非常ベルの音と放送を聞いて素早く上履きを履き、教職員の指示に従って危険の少ない場所に避難します。4月から避難訓練を重ねてきていますので、その状況でも誰も泣かずに、素早く避難ができました。4歳～6歳の幼児であっても、避難の「練習」に真剣に取り組む様子に、子どもたちの成長を感じました。午睡明けの避難訓練の中には、素早く靴を履く、布団をよけて安全な通路を歩く、学年に関わらず誰とでも手をつないで二人組で歩く、担任の先生以外の先生の話も聞く、聞いたことを行動に移すなど、日頃の生活の小さな積み重ねが詰まっています。これまでの日々の生活で積み重ねられてきた様々なことは、安全への備えでもあるのです。

幼児期は人としての備えの時期とも言えると思います。これから生きる子どもたちに、どんなことを身に備えていってほしいと願いますか。自分がしたことが誰かに受け止められると自分から行動することが増えていきます。反対に、自分から行動したことを止められ、言われた通りにすることが喜ばれると、自分で考えることよりも人から言われることを待つようになります。

こども園では、自分の好きなことを見つけて遊ぶ、新しいことでもちょっとしてみる、上手いかななくてももう少し続けてみる、けんかをしてもし仲直りする、うまく言葉にならなくても相手に伝えてみようとする…などを積み重ねられるように、支えています。自分で考え判断し自信をもって自分のよさを発揮する、人との関わりを楽しみと思う人になってほしいと考えているからです。

今年も、ご家庭それぞれの夏があったと思います。自然の豊かさ・美しさ・偉大さに触れる、地域の文化を知る、掃除や洗濯、料理などの家事を子どもと一緒にするなど、親子で一緒に楽しむ時間があったと思います。その体験・時間が、成長していく中での自分の備えになっていきます。9月からも子どもの成長の先を考えて、今の時間を楽しみ、備えを増やしていきたいと思います。

—今月の指導のめあて—

- 〈4歳児〉
 - ・教師や学級の友達と久しぶりに会うことを喜び、一緒に過ごす中でこども園や学級での生活の仕方を思い出す。
 - ・教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かしたり、自分のしたいことを繰り返し楽しんだりする。
 - ・園庭の虫や自然に触れ、季節の変化を感じたり、製作遊びや運動遊びに取り入れて遊ぶことを楽しんだりする。
- 〈5歳児〉
 - ・共通の目的に向かって友達と一緒に取り組む中で、自分の力を発揮しようとする。
 - ・思い切り体を動かすことや、勝つうれしさや負ける悔しさを感じて、友達と競い合うことを楽しむ。

<お願い>

園児の安全のため、保護者名札は必ず着用してください。名札の着用は、登降園時を含めて、来園時から門を出る時までお願いします。

名札が見えない場合、声を掛けさせていただくことがあります。